

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事例概要について】

• •

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	火災現場に於ける、一般建物（木造）構築部の崩落と、それに係る危険予知
3. 体験した事例の中心的要素	建物火災・消防戦闘中（鎮圧状態）に、建物壁部の破壊をしていたところ、前方位置していた土壁（高さ約2.5m 幅5m）が崩落してきた。
4. 体験した事例の原因・理由	建物構造の把握不十分。土壁の老朽化・放水により壁内に多くの水が浸透、伴って壁重が増大し基部が不安定となり崩落につながった。

### 【体験した事例の直接的原因について】

• •

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。状況判断に問題があった。
------------------	--------------------------

### 【体験した事例について】

• •

1. 発生日時	平成 18 年 11 月 0 日 午後 14 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：大規模木造倉庫・戦前に建立されており主壁は土壁である
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	死亡していた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	崩壊・倒壊(に巻き込まれる)、
7. 事例体験時の活動	火災、現場活動終了時、 [ 木造建物 ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	破壊活動、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
○当事者B	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
○当事者C	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

## 11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A	とび口を用いて壁部の破壊作業に従事	指揮者の注意が喚起される
経過 2	A	壁部が自分の方へ崩落してきた	壁幅約 5m 高さ 2.5m
経過 3	A	壁部の下敷きとなった	下半身は壁の下敷きに
経過 4	他の隊員	8人かがりで壁を持ち上げAを救出	Aに怪我は無かった
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

#### 【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかつた。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
  - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。

b. 注意力が欠如していた

- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
  - ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。
  - ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。

c. 経験・知識が不足していた。

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     |  |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 |  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          |  |

d. 心身の不調があった

- |           |  |
|-----------|--|
| ・体調が悪かった。 |  |
| ・悩み事があった。 |  |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

- |                     |  |
|---------------------|--|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   |  |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 |  |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 |  |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  |  |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       |  |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 |  |

g. 行動しにくい環境だった。

- |                  |  |
|------------------|--|
| ・狭隘な場所であった。      |  |
| ・暑かった（寒かった）。     |  |
| ・野次馬が多かった。       |  |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 |  |

h. 足場が悪かった。

- |                   |  |
|-------------------|--|
| ・足元が躊躇したり滑りやすかった。 |  |
| ・足元の強度が不足していた。    |  |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| ・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）           |  |
| ・指示内容に誤り・偏りがあつた。                    |  |
| ・指示内容が実施困難であつた。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） |  |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

- |                |  |
|----------------|--|
| ・隊員の連携が不十分だった。 |  |
| ・隊員が不足していた。    |  |

○その他

l. その他の理由があつた。

--

図-1

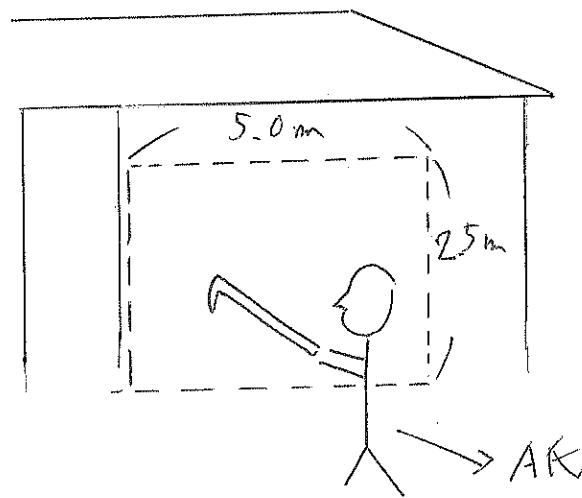


図-2

